

平成18年度 日本家政学会

色彩・意匠学部会報 No. 3

発行日 平成19年3月31日
発行人 日本家政学会色彩・意匠学部編集発行
事務局 〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院短期大学被服造形研究室(井澤尚子)
TEL: 03-3262-2692 FAX: 03-3262-2174

《平成18年度総会報告》

平成18年8月24日(木)、文化女子大学において「平成18年度総会」を開催、以下の議事について報告、検討を行い、承認された。

議事

平成17年度総会議事録

1. 総会

- ・平成17年8月25日(木) 大阪市中央公会堂

2. 役員会

- ・平成17年5月28日(土) 中村学園大学
- ・平成17年8月25日(木) 大阪市中央公会堂
- ・平成18年3月4日(土) 東京家政学院短期大学

3. 企画委員会

- ・平成17年8月25日(木) 大阪市中央公会堂

4. 第27回夏季セミナー

期日：平成17年8月25日(木)～26日(金)

場所：大阪市中央公会堂

<プログラム>

8月25日：役員会

- ・講演1) 「間のデザイン」 —エコ、ユニバーサルファッションは日本人の「和」の中にある—
講師：ファッションデザイナー 古川雲雪氏
- ・講演2) 「色彩・意匠に関する体験的研究視点」
講師：共立女子大学教授 伊藤紀之氏

- ・色彩・意匠学部会総会
- ・水上バス・アクアライナーにて「大阪城・中之島めぐり」
- ・研究および情報交換会(小集会室)

8月26日：

- ・ATC(アジア太平洋トレードセンター)内エイジレスセンター見学および体験
- ・ATC内にて昼食後、自由行動(海遊館、サントリー美術館など)

5. 韓国国際学術大会

- ・平成17年8月18日(木)～21日(日) ソウル市 漢陽大学

6. パソコン講習会(パワーポイント)

- ・平成18年3月4日(土) 東京家政学院短期大学

7. 平成17年度役員構成

部会長：芦澤昌子

副部会長：橘 喬子、盛田真千子

監事：斎藤祥子、渡辺芳道

常任委員：

<庶務> 橋本令子、石原久代、野沢久美子

<会計> 井澤尚子、成田巳代子、田岡洋子

<会報> 武井玲子、伊藤陽子、内藤章江

<セミナー> 橘 喬子、吉田千恵子、佐々木由美子、
成田巳代子、田岡洋子、宮武恵子

<顧問> 吉岡徹、伊藤紀之、加藤雪枝

平成17年度決算報告・監査報告

平成17年度 決算報告

平成17.4.1 — 平成18.3.31

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	11,667	通信費	17,510
平成17年度部 会費	39,000	事務費	0
		印刷費	200
		会議費	12,936
		雑費	0
		次年度繰越金	20,021
合計	50,667	合計	50,667

以上の報告の通り相違ありません。

平成18年3月31日

監査 斎藤 祥子 印
渡邊 芳道 印

平成18年度事業計画

1. 総会

・平成18年8月24日(木)文化女子大学

2. 役員会

・平成18年8月24日(木)文化女子大学
・平成19年3月 3日(土)東京家政学院短期大学

3. 連絡懇談会

平成18年5月27日(土)または28日(日)日本家政学会第58回大会秋田大学

4. 日本家政学会第58回大会において被服構成学部会企画のシンポジウムに部会として協力

5. 平成18年度合同セミナー

・平成18年8月24日(木)～25日(金)文化女子大学

6. 情報交換会

・平成18年8月24日(木)文化女子大学

7. 共同研究打ち合わせ

・平成18年8月24日(木)文化女子大学
・平成18年8月25日(金)夕留

8. 講習会

・平成19年3月3日(土)東京家政学院短期大学

9. 企画委員会(平成19年度夏季セミナー関連)

10. 平成18年度役員構成

部会長 : 芦澤昌子

副部会長: 橋 喬子、橋本令子

監 事 : 斎藤祥子、渡辺芳道

常任委員:

<庶務> 石原久代、野沢久美子、内藤章江

<会計> 井澤尚子、成田巳代子、田岡洋子

<会報> 武井玲子、伊藤陽子、花田美和子

<セミナー> 盛田真千子、吉田千恵子、
佐々木由美子

<共同研究> 盛田真千子、橋 喬子

<顧問> 吉岡徹、伊藤紀之、加藤雪枝

11. 平成18年度予算案 平成18.4.1 - 平成19.3.31

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	20,021	通信費	18,000
平成18年度部会費	40,000	事務費	5,000
		印刷費	2,000
		会議費	20,000
		雑費	1,000
		次年度繰越金	14,021
合計	60,021	合計	60,021

平成18年度総会議事録

日時:平成18年8月24日(木)16:00~17:00

場所:文化女子大学、司会 石原委員

I. 開会挨拶

芦澤昌子部会長より開会の挨拶がなされた。

II. 議題

1. 平成17年度事業報告

橋本委員より、平成17年度事業報告(資料1)がなされ、承認された。

2. 平成17年度会計・監査報告

成田委員より、平成17年度会計報告(資料2)がなされた。引き続き、斎藤委員より平成17年度監査報告がなされ、承認された。

3. 平成18年度事業計画

橋本委員より、平成18年度事業計画案(資料1)が提案され、承認された。

4. 平成18年度予算案

田岡委員より、平成18年度予算案(資料2)が提案され、承認された。

5. 平成18年度役員について

芦澤部会長より、平成18年度色彩・意匠学部役員(資料3)について、庶務の橋本委員を副部会長に、会報係の内藤委員を庶務に、花田委員を新たに会報係とする提案がなされ、承認された。

6. 3月パソコン講習会について

井澤委員より、3月パソコン講習会(資料4)の説明がなされた。開催日は3月10日(土)、会場は東京家政学院短期大学1号館8階パソコン教室、会費は4,000円との提案があり、承認された。講習会の内容は、プレゼンテーションテクニックの中でも見やすさやデザインに着目して行われることで合意が得られた。また、講習会後に自習できるようテキストの作成・配布が要請された。

7. 平成17年度共同研究のまとめについて

盛田委員より、クールビズに関する研究グループの現状が報告された。また、芦澤部会長より照度に関する研究グループの現状が報告され、次年度家政学会全国大会にて花田委員が発表を行うとの報告がなされた。

8. 平成18年度共同研究について

橋本委員より、平成18年度ユニバーサルデザイン研究(資料5)についての説明がなされた。

9. 実践集について

報告なし

10. 平成19年度第29回夏季セミナーについて

橋本委員より、平成19年度第29回夏季セミナー(資料6)について、開催予定日は例年通り8月第4週の木・金曜であり、第1日目は愛知県名古屋市の『ウィルあいち』にて講演会(2件)、第2日目は有松絞りまたは七宝焼きなどの見学・体験を行うとの提案がなされた。なお、3月開催の役員会にて再検討を行うことで合意が得られた。

11. その他

- 平成18年度第28回夏季セミナーについて盛田委員より、平成18年度第28回夏季セミナー第2日目の会場案内がなされた。

《 合同夏季セミナー報告 》

平成18年度(社)日本家政学会色彩・意匠学部会、被服心理学部会の総会及び合同夏季セミナーが平成18年8月24日(木)、25日(金)の2日間にわたり東京で開催された。

24日は文化女子大学で役員会、総会、服飾博物館見学、大関氏・長沢氏の講演、テキスタイル資料室・コスチューム資料室・映像資料室の見学後、色彩・意匠学部会、被服心理学部会合同夏季セミナーの出席者全員による情報交換会が盛大に開かれた。終了後、次年度の共同研究課題の説明、研究方法など活発な研究会であった。

25日は、ナショナルセンター東京で阪口氏・石田氏の講演がなされ、その後、光源と色温度、バーチャルルームを見学した。時間の関係上ナショナルセンター美術館・暮らしの夢などのセンター内施設を自由見学した。色彩・意匠学部会は、2日間にわたり共同研究会がなされ、活発な意見が遅くまで交わされた。また、合同夏季セミナーの役員会、総会については両部会の会員に入会している者がいることから重ならないよう配慮したプログラムとした。講演内容も盛り沢山で変化もあり、中身も濃く充実した内容であったとの感想も寄せられた。一方、参加者は52名で、文化女子大学大学院生の4名(セミナー進行手伝い、参加費無料)も含めて計56名が参加した。

<プログラム内容>

- 8月24日(木) 会場：文化女子大学
〒151-8523 東京都渋谷区代々木3-22-1
10:00~11:30 文化学園(文化女子大学)学芸員による説明：各部会総会中、服飾博物館自由見学及び昼食
11:00~11:30 色彩・意匠学部会役員会
11:30~12:15 色彩・意匠学部会総会
12:15~12:45 被服心理学部会役員会
12:45~13:30 被服心理学部会総会
12:30~13:30 受付
13:30~14:30
講演1)「トレンドカラー最前線」(A館051)
講師：文化女子大学教授、国際流行色委員会議長 大関徹氏
14:30~14:45 コーヒータイム

14:45~15:45

講演2)「エルメス、ルイ・ヴィトン、ポロ・ラルフローレンに見る経験価値創造」
(A館051)

講師：早稲田大学ビジネススクール経営専門職大学院教授 長沢伸也氏

16:15~17:15

ファッションリソースセンター見学：テキスタイル資料室・コスチューム資料室・映像資料室

17:30~19:00 情報交換会(懇親会)(大学食堂)

- 8月25日(金) 会場：ナショナルセンター東京
〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1(汐留)

10:00~11:00

講演3)「光と睡眠の生体内リズム」

講師：松下電工(株)照明R&DセンターオブティックスGグループ長 阪口敏彦氏

11:00~12:00

講演4)「スロービューティーの必要性ーメトロセクシャルを例としてー」

講師：駒沢女子大学助教授 資生堂客員研究員 石田かおり氏

12:00~13:00 昼食

13:00~13:20

ナショナルセンター東京施設概要の説明

13:20~15:00

光源と色温度、バーチャルルームの見学

15:00~16:30

色彩・意匠学部会共同研究の打ち合わせ、ナショナルセンター美術館、暮らしの夢などセンター内施設自由見学

<講演内容要約>

講演1)

「トレンドカラー最前線」文化女子大学教授、国際流行色委員会議長 大関徹氏

カラーは人々の心を左右する力を持つ視覚媒体である。過去のSD法による因子分析結果に共通する因子としては、①評価性、②活動性、③潜在性、の3因子が主たるものとして析出されている。色彩が商品に適用されたとき、これらの心理的効果は時として売り上げの多寡を大きく左右し、またときとして、色変え一つで、全く異なるイメージのものへと変貌する。商品の色彩、とりわけ衣料品分野ではこうした色彩の力を商業的に活用することが日常化しているが、色彩の設定に当たっては、生活者の心理を「好まれるカラーデザイン」という視点から点検していく作業が必要となる。本セミナーでは、衣料品分野での先行的色彩設定の考え方と事例について、述べられた。

講演2)

「エルメス、ルイ・ヴィトン、ポロ・ラルフローレンに見る経験価値創造」早稲田大学ビジネススクール経営専門職大学院教授 長沢伸也氏

鞆や洋服の中で、極めて高価であるにもかかわらず強い人気を誇るラグジュアリーブランドの価値創造について、歴史や経営・マーケティングのスタイルの異なる代表的なブランドであるエルメス、ルイ・ヴィトン、ポロ・ラルフローレンを比較し分析することで、それぞれの経験価値創造を探った。その結果、伝統的な技術を持ち高級品を創出してきた企業の場合、エルメスの経験価値創出方法が参考になり、さらに顧客層を積極的に拡大するならばルイ・ヴィトンが好例となる。また、比較的新しく、伝統的な自社技術ではなくアウトソーシングを積極的に行う企業であれば、ポロの経験価値創出方法が参考となることが示唆された。

講演3)

「光と睡眠の生体内リズム」松下電工(株)照明R&DセンターオプティクスGグループ長 阪口敏彦氏

人類は火を手に入れることで、同時に灯り(光)を手に入れた。そして、近年は電気による人工照明の急速な普及・発展により、簡単で便利に明かりを使うことができるようになった。このことは人類が『闇を克服し、生活に光を見いだした』という他の生物とは異なる特徴的な生活形態である。これに伴い、夜間でも安全を確保し、快適な視作業を行える、そして安心感を得る事ができる。人類は光を手に入れることで、これらの安心・安全・快適を手に入れることができた。

しかし、逆に本当の夜が生活から無くなった。そして、昼と夜の光環境の差も無くなってしまった。自然界であれば、昼間は晴天時10万ルクス、曇天時なら1万ルクスと天候でも差があった。まして、夜間となると、満月時でも0.3ルクス程度、新月だと0.001ルクス以下と昼と夜の光環境(明るさ)の差は非常に大きかった。しかし、現在社会では、昼間のオフィスや店舗の明るさでも750~1000ルクス程度、ゆっくりする家庭のリビングルームでも200~300ルクス程度と一日における明るさの差はほとんど無くなった。

講演4)

「スロービューティーの必要性 —メトロセクシャルを例として—」駒沢女子大学助教授 資生堂客員研究員 石田かおり氏

メトロセクシャルとは:若くて高収入で都市部に住み、女性的ファッションセンスや文化的趣味をもつ(異性愛者の)男性。エステに通う男性など、近年アメリカで新しい市場層として注目されている。

スロービューティーになると:化粧の結果偏重から過程を楽しむようになる美容。未来の自分へ投資、五感を

活性化する美容。化粧はさまざまな表現を楽しめる(自分・他人)、外見による排除(いじめ)の解消、真に個性がいきる。「みんな違ってみんないい」、「ナンバーワンよりオンリーワン」、人の生きる速度に合った美の形成と表現美の基準は自分の中 → 脱欠点修正型美容、若いも美しい。障害も個性・弱者はいない、年を重ねないと得られない美の尊重・年を重ねることが楽しみとなる。

(合同夏季セミナー総括:盛田真千子)

《色彩・意匠学部会共同研究について》

◆ クールビズに関するグループ研究

平成17年8~9月にかけて、社会規範やデザイン、着装等に関するアンケート調査を実施した。背広を着装している男性を対象にして、クールビズの問題点を探った。その報告を平成18年5月秋田にて開催の家政学会全国大会で2報にわけ口頭発表をした。

1) クールビズに関する研究(1) 基本属性と夏の服装に対する意識について

発表者 : 内藤章江

共同研究者: 小吹史子、花田美和子、斎藤祥子、盛田真千子

2) クールビズに関する研究(2) 上着の色彩とデザインについて

発表者 : 井澤尚子

共同研究者: 佐々木由美子、長塚こすえ、橘 喬子、芦澤昌子、盛田真千子

続報として、平成18年8~9月に男女有職者の服装意識及び省エネルギーの視点から、夏における快適なビジネスウェアの着装方法についての調査を実施、この結果を、平成19年度5月岐阜にて開催の家政学会全国大会で口頭発表の予定である。

1) クールビズに関する研究(3) 男性有職者のビジネススーツスタイルに対する意識

発表者 : 内藤章江

共同研究者: 佐々木由美子、藤田恵子、花田美和子、武井玲子、芦澤昌子、盛田真千子

2) クールビズに関する研究(4) ビジネススーツスタイルに対する意識の男女比較

発表者 : 井澤尚子

共同研究者: 成田巳代子、長塚こすえ、斎藤祥子、橘 喬子、小吹史子、盛田真千子

また、2年間にわたり、グループ研究を行ってまいりましたが、平成19年度をもって一区切りといたします。なお2回にわたって行ってきた口頭発表の内容については、それを基に報文にするよう進めつつあります。

(研究グループ代表:盛田真千子)

◆ 明るさの言葉に関する研究

色の見えに対して明るさは影響が大きい。その明るさを表現する言葉の調査を行い、平成18年5月に開催された年次大会において、下記のように2報にわけ口頭発表を行った。

1) 明るさのことばの活用

発表者 : 佐々木由美子

共同研究者: 成田巳代子、田岡洋子、近藤信子、
吉田千恵子、花田美和子、芦澤昌子

2) 情景画像から見た明るさのイメージ

発表者 : 石原久代

共同研究者: 橋本令子、斎藤祥子、井澤尚子、
小吹史子、花田美和子、芦澤昌子

朝日の出る前のしらじらと夜が開けてくる時の様子の言葉、夕方、次第に暮れていく時の様子の言葉について、海岸に近い地域、山に囲まれた地域等で表現の違いがあるかどうか検証した。

年齢によって使用する言葉が違ふこと、薄暮の表現に年齢の違いがあるかどうかを調査した結果を佐々木先生が代表して発表。明るさを一定し日本全国で写真を撮影した。北海道から愛知県まで空を6割入れた写真を撮影。共同研究者がプロジェクターで大型画面に映写しその写真を見た印象を学生を対象に調査した。写真から受ける明るさのイメージを刺激にその印象を調査したもので、映像を用いて明るさのイメージを調査し解析した。

次の3つ目は夕留の松下電工で実験を行った。本実験は19年度、岐阜で行われる59回大会で、以下の内容にてポスター発表される。

“明るさの言葉”のイメージと照度

発表者 : 花田美和子

共同研究者: 井澤尚子、佐々木由美子、吉田千恵子、
小吹史子、盛田真千子、芦澤昌子、
石原久代、橋本令子、斎藤祥子
(研究グループ代表: 芦澤昌子)

◆ ユニバーサルデザインに関する研究

平成17年度夏季セミナーにて「ユニバーサルデザイン」をテーマに古川雲雪氏による講演ならびにエイジレスセンターの見学を実施致しました。それらの知識・情報をもとに研究の発端として、平成18年9月～10月にかけてユニバーサルデザインに関する生活者の意識調査を実施しました。ユニバーサルデザインに対する認識度や生活者が求めているものなど、その分析結果を日本家政学会第59回大会にて発表するため準備を進めています。「あらゆる人が快適に暮らすことができる製品、サービス、環境や情報をデザインすること」として提唱されているユニバーサルデザインについて、色彩・意匠学の見地から快適な暮らしを提案できるデザインを研究していきたいと考えています。ぜひ、みなさまのご参加をお待ちしております。

1) ユニバーサルデザインに関する研究(1)

—生活者意識の実態—

発表者 : 成田巳代子

共同研究者: 井澤尚子、伊藤陽子、斎藤祥子、
田岡洋子、畑久美子

2) ユニバーサルデザインに関する研究(2)

—問題点からのアプローチ—

発表者 : 橋 喬子

共同研究者: 芦澤昌子、蒲池香津代、武井玲子、
長塚こすえ、花田美和子

(研究グループ代表: 橋 喬子)

《お知らせ》

平成19年度色彩・意匠学部会夏季セミナー

平成19年度色彩・意匠学部会総会及び夏季セミナーを下記の通り、開催致します。部会員はじめ、部会員以外の方方のご参加も歓迎いたしますので、皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加下さい。

期日: 平成19年8月23日(木)～24日(金)

会場: ウィルあいち

申し込み・問い合わせ先:

〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3

椋山女学園大学生活科学部 橋本令子

TEL: (052)781-1186 (代) FAX (052) 782-7265

E-mail: h-reiko@sugiyama-u.ac.jp

《訃報のお知らせ》

平成19年1月30日 色彩・意匠学部会設立のためにご尽力いただきました、元椋山女学園大学教授椋山藤子先生が93歳の天寿を全うされ、お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り致します。

色彩・意匠学部会規程

第1章 総則

第1条 この部会は色彩・意匠学部会と称する。

第2条 この会は、(社)日本家政学会の全国的な会員の交流をはかり、色彩・意匠の学術・研究の成果を高め、家政学の発展に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 この会はその目的を達成するために次の事業を行う。

- 1) 研究会
- 2) 研究発表会・討論会
- 3) 講習会(セミナー)
- 4) 研修・見学会
- 5) 成果の印刷物配布

6) その他の必要とする事業

第4条 この事業の年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わりとする。

第3章 会 員

第5条 この会は(社)日本家政学会の会員をもって構成する。

第4章 役 員

第6条 この会の運営を円滑にするため次の役員をおく。

部 会 長 1名 (付1)
副部長 2名
監 事 2名
常任委員 若干名

第7条 役員の職務は互選によって定め、総会の承認を得る。

第8条 役員の任期は2年とする。ただし再選をさまたげない。

第5章 会 費

第9条 本会の会費は年額千円とする。

付 則

この規程は昭和53年4月1日より施行する。

この規程は昭和58年8月26日より改定施行する。

この規程は平成元年8月22日より改定施行する。

この規程は平成15年8月28日より改定施行する。

申し合わせ事項

1. 役員の職務は庶務・会計・セミナー・企画の係を分担する。
2. 庶務・会計は会員の中から補佐を依頼することが出来る。
3. 事務局は会計責任者の勤務先住所とする。(付2)
4. 会計は会計責任者名で口座を開設する。
5. 会報は企画係が計画し、セミナー係・庶務係・会計係が中心に編集する。

(付1): 部会長連絡先(平成18年4月1日から)

〒154-8568 東京都世田谷区世田谷3-11-3
東京医療保健大学 芦澤昌子
TEL: 03-5799-3711 (内線352)
FAX: 03-5799-3713
e-mail: s-ashizawa@thcu.ac.jp

(付2): 事務局連絡先

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地
東京家政学院短期大学被服造形研究室 井澤尚子
TEL: 03-3262-2692 FAX: 03-3262-2174

(部会費振込み先) 口座番号: 0014 - 5 - 389316

口座名義: 色彩・意匠学部会

《編集後記》 豪雪の話題が多かった昨年と違って暖冬の今年、入学試験に備えての全職員による雪かきは一度もありませんでした。このような自然の変化は、私たちの豊かな生活のツケが原因なのか、今後の生活への影響が懸念されます。色彩・意匠学部会部会員の益々のご活躍をお祈りしております。

(担当: 武井、伊藤、花田)